

合格の秘訣は間違った問題との向き合い方



はじめまして、昨年から今福で勤務させていただいている坂口と申します。私は中学1年の冬から今福教室のお世話になっていました。私は常翔学園高校の文理クラスを卒業し、今は関西大学で経済学を学んでいます。もうすぐ冬休みですね。中学3年生の皆さんは受験まであとわずか。今回は私の高校、大学受験体験記を話せたいと思います。

塾に来て自習をして、いったん家に帰ってご飯を食べ、その後また塾に来て自習をしていました。それを毎日していました。それでも落ちてしまった。めっちゃ悔しくて担任の先生や塾の先生に結果を報告するときは大泣きして、全然喋れなかったことを今でも覚えています。

何が違ったのかと今振り返ってみると、2個違ったことがありました。1つ目は質より量にこだわっていたことです。長時間やるのは当然。これはそうなのですが、入試の過去問などを単にたくさんやれば良いと思っていませんか？たくさんやるのは少ないよりはいいですが、しっかり間違った問題を復習して、もう一度似た問題が出たときに解けるようにしてください。先生にも

言われていると思いますが、本当に大切なことです。2つ目は自分に甘くならないことです。皆さんは宿題の〇付けなどを甘くしていませんか？私は中学の時に少しした経験があります。私はこれに関してすごく後悔しています。まるで現実逃避をしたみたい間違った問題に向き合わない。しんどいことに向き合わない。これが落ちた原因でもあったかなと思います。

最後ですが、受験は何が起こるかわかりません。合格点に届いていなくても、1週間我慢すれば届いて合格点を取れることもあります。どれだけ点数が低くても、現実逃避をせずに地道に受験に向き合うことが成功への最大の近道だと思います。



シルバのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE Talking Kids Silvestre Benigno Medelin

Make it a December to Remember!

Ho ho ho Merry Christmas! Christmas is in air. Yes!! It is Christmas season again. It is one of the most awaited holiday seasons! Time really flies. This year has been a roller coaster due to the pandemic, yet we have managed to survive year 2021! People around the world have different ways to celebrate Christmas. In Philippines, being one of the predominantly Catholic countries in Asia. Christmas season is celebrated the longest in the world. It gradually starts from September 1 to December 25 - otherwise known as BER months and ends in the 3rd week of January. What are the activities in this season? Christmas season is really exciting in the Philippines. Filipinos like to decorate Christmas trees and display colorful Christmas lanterns and flickering Christmas lights. A lot of people show their creativity in

designing their Christmas lanterns. Aside from decorating Christmas trees, displaying Christmas lanterns, and playing Christmas songs, you can also hear children and some adults going to every house singing Christmas songs (caroling) in exchange of some money. This has been a tradition in the Philippines. Hearing them singing Christmas songs gives emphasis to Christmas season. People go to masses from December 16 to December 24 believing that a wish can be granted if they complete the nine masses. On Christmas eve, have you seen kids hanging socks by the window? Many kids do this expecting Santa Claus will come to give their presents. A mass-Misa de Gallo around midnight and Noche Buena are celebrated. Family members dine together to enjoy the delicious

foods which followed by exchanging presents. Family members working in other places usually come home to celebrate together. We really value Christmas and celebrate the most of it with family members.

How about New Year's Eve? Families gather for a Media Noche, a lavish midnight feast that symbolizes our hopes and for prosperity in the coming year. We make noise both to greet the New Year and the belief to drive away bad luck and bad spirits. In accordance with the yearly ban for dangerous firecrackers, we use light firecrackers and find a safer way to make noise by banging on pots and pans and blowing car horns. Other traditions and beliefs include encouraging children to jump as high as they can at midnight to increase their height, wearing clothes with dots and other circular designs to symbolize coins and money, having 12 kinds of fruits on the table attracts good fortune, and opening all the windows and doors to let the blessings in.

People celebrate Christmas and New year in different ways. What matters the most is who do you celebrate with and how memorable it is. Have a merry Christmas and Happy New year to everyone!!! Let's make December to Remember!

12月を良い思い出にしよう!

今シーズンの活動は? フィリピンのクリスマスシーズンは本当にエキサイティングです。フィリピン人はクリスマスツリーを飾り、カラフルなクリスマスランタンときれいなクリスマスライトを飾るのが好きです。多くの人がクリスマスランタンのデザインに創造性を発揮します。クリスマスツリーやランタンの飾り付け、クリスマスソングの演奏の他に、子供や大人が家に行って、お金と引き換えにクリスマスソング(キャロル)を歌うのを聞くこともできます。これはフィリピンの伝統です。彼らがクリスマスソングを歌うのを聞くと、いよいよクリスマスシーズンが来たという感じになります。人々は12月16日から12月24日まで、9つのミサを

完了すると願いが叶うと信じてミサに行きます。クリスマスイブに、子供たちが窓際に靴下をぶら下げているのを見たことがありますか? 多くの子供たちは、サンタクロースがプレゼントをくれることを期待してこれを行います。真夜中頃のミサデガロとノーチェブエナが祝われます。家族と一緒に食事をして美味しい料理を楽しんだ後、プレゼントを交換します。他の場所で働いている家族も、一緒に祝うために家に帰ります。私たちは本当にクリスマスを大切にし、そのほとんどを家族と一緒に祝います。大晦日はどうですか? 家族は、私たちの希望と来年の繁栄を象徴する豪華な真夜中のごちそうであるメディアノッチェに集まります。私たちは新年を迎えるために、そして不運と悪霊を追い払うという両方の願いのために騒ぎます。強力

な爆竹は禁止されていますので、私たちは軽い爆竹を使用したり、鍋やフライパンを叩いたり、車のクラクションを鳴らしたり、様々な方法で大きな音を出します。また、の習わしとして、子供たちが深夜にできるだけ高くジャンプして背が伸びるのを願ったり、コインやお金を象徴する水玉柄や円形のデザインの服を着たり、幸運を引き付けるためにテーブルに12種類の果物を置いたり、祝福を受け入れるために窓やドアを全て開けるなどがあります。人々はさまざまな方法でクリスマスと新年を祝います。最も重要なのは、誰と一緒に祝うのか、そしてそれがどれほど記憶に残るかです。みなさん、メリークリスマスと新年あけましておめでとうございます!!! 12月を良い思い出にしましょう!



【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

明けましておめでとうございます。
珠算競技大会古市教室5連覇!!!



高木 秀章 (塾長)



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

新年の新鮮なピンとはりつめた寒さと共に、受験への緊張感を感じている人もたくさんいると思います。中3生は私立受験まで約1カ月、そして高3生は共通テストまであと数日となりました。今は、とにかく体調管理。風邪を引かぬよう、そして年末より市中感染が拡大しているオミクロン株の感染防止を徹底して、当日を迎えるように心がけてください。先を考え不安になるよりも、今日1日、今この時間を大切に、すべきことに集中して過ごしてもらえればと思います。

昨年12月8日~14日で第17回カイチ珠算競技大会を、コロナ感染予防のため昨年に続き各教室開催で実施しました。

結果は古市教室の5連覇。古市教室が1年・3年・4年で勝利、今福が2年・5年で勝利、そして諸口が6年で勝利。今福担当の私としては、「今年こそ古市の連勝を絶対止めよう」と相当の気合で生徒達と取り組みましたが、届きませんでした。やはり古市教室、そして諸口教室の6年生、強かった…。



▲今回は読み上げ算や読み上げ暗算もCDで行いました。

昨年度は初のコロナ禍での実施ということで、読み上げ・読み上げ暗算競技はできませんでしたが、今年度はどうしてもカイチNo.1までやりたいという声が先生達から上がりました。

そこで、珠算責任者の川西先生が読み上げ・読み上げ暗算の競技会用CDを作成し、全20題中の正答数で順位をつけるという形式で実施しました。

そして各学年優勝の生徒達に対して、カイチNo.1決定用のCDを作成し全10問での正答数でカイチNo.1を選びました。

今回練習では、読み上げ算で小学1年生で18桁(10京)の読み上げ算を正解する生徒が出ていました。そろばんの読み上げ算の本の最高位がこの18桁ですので、選手間で差を作るには、位違いやスピードしかありません。しかし、高学年の選手たちの多くが位違いの最高難易度7桁~18桁を正解するようになっていますので、今回CDを制作した川西先生は相当な早さで読むことで勝負がつくようにCDを作成しました。

読み上げ暗算もしかりで、百万円台を暗算で正解するのは、当然簡単なことではありません。問題は最後に近づくほど難しくしてありますが、坂井さんは最後の6番~10番を全て正解させています。作成者である川西先生の「これは無理だろ」をいい意味で裏切ったわけです。

子供達は「可能性の塊」。いつもこうやって私達大人の常識を超えていきます。この競技会が始まった時には、読み上げ算は1兆円代、暗算は100円代で優勝できました。その度に子供達は私達の考えをはるかに超えて成長し、これだけのレベルに到達しました。



▲自宅練習はYouTubeで。なんとCDも全て川西先生作!

また今回の競技会の指導では、「鍛える」ことの素晴らしさを感じました。1万円が置けない生徒達に、10億円を練習させる。こちらができないと決めつけず、君ならできて当然という姿勢で、何度も何度も諦めずに鍛えていく。すると、1年生でもずっと顔つきが変わってきます。腹をくくった「やってやる」というぐっと落ち着いた目になります。私はそこから始めて、本当の指導ができると考えています。そして、それに会えるのがこの仕事の醍醐味でもあります。

今年もいよいよあらたな1年が始まりました。私達のすべきことはただ一つ、生徒達と向き合い伸ばすことです。

日々成長していく子供達と共に過ごし、学ぶ。この最高の時間を今年も精一杯面白がって、もっと価値のある、もっと地域の皆様に向けていたただける塾に成長したいと思います。今年も1年宜しくお願いいたします。



▲坂井莉紗さん最高得点賞とカイチNo.1読み上げ暗算の2冠。花田・西村先生と。

各競技の上位は挟み込みの別紙に掲載していますのでご確認ください。

読み上げ暗算・読み上げ算それぞれの各学年のチャンピオン間で決定するカイチNo.1の読み上げ算の部は、今福教室5年生の川崎楓菜さんが難易度の高いNo.1専用問題を4題正解して優勝。読み上げ暗算の部は、ここでも今津教室4年生の坂井莉紗さんが7題を正解して優勝、最高得点賞とともに2冠に輝きました。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

いよいよ私立入試まで1カ月 最後の最後まで、みんなで頑張りよう!

川西 久志 (今福教室)

年が明け、いよいよ受験直前になってきました。中学3年生の皆さんは、一層引き締まった気持ちで受験勉強に邁進していることと思います。今回は今福教室の先生と受験生の頑張りについて書こうと思います。



▲冬期講習の1コマ。岸田先生、燃えています。

12月末から冬期講習が始まり、生徒達も私達講師も大忙し。中学3年生はお昼から5時間ほどの講座を行い、それ以外の時間は塾の課題や学校の冬休みの宿題、志望校の赤本とかなりハードな学習量をこなさなければなりません。ですから、多くの生徒達は講座のない朝や夜も空き教室で自習しています。みんな終業時間のギリギリまで勉強し、「寒いから風邪ひかように気をつけや」と声をかけて帰宅させるのが常です。人生の進路を自分の力で決めるという人生最初の大イベントに真剣に向き合っている生徒達の姿を見て、私達も彼らに負けられないように時間の許す限り、何でもやってやろうという気にさせられます。



▲この時期の生徒達の質問は質も高く、量も多い!

今の時期、私達は質問対応に大忙しです。学年末対策と私立の赤本の質問など、社員の先生だけでは対応しきれない量の質問が来ます。特に赤本の質問はとて難しく、私達も解答するのに時間がかかり生徒達を待たせてしまうので、一旦コピーをさせてもらい解説を準備して

から質問に答えます。しかし、それが終わるや否や、次の質問が提出され次々に溜まってしまうので、非常勤の先生達にも手伝ってもらい総動員で対応しています。時間がない受験生にできるだけ早く返答をしたい。大変ですが、彼らと一体感を持って受験に向かっている手応えが感じられる時間でもあります。



▲生徒から人気の英検担当大谷先生。

今年の生徒達は、実はトーキングキッズを立ち上げた時、最初に小学生から参加してくれた生徒達です。中学生になり中学英検講座に参加する生徒も増え、英検2級合格者は今福歴代最多のなんと9名!(発表待ちの方がまだいます)となりました。2級取得はとて難易度が高く、試験前は毎日来る日も来る日もリスニングを聞いて、英作を非常勤の先生に何度も繰り返し添削をしてもらい、ようやく合格を勝ち取ることができた生徒達は話していました。地道に努力を積み重ねた生徒達と、それを支えた非常勤の先生達。このようなみんなの努力が志望校合格に繋がるよう願っています。



▲非常勤の先生達もみんなで質疑対応!

今福教室では毎年受験生にクラブ活動引退後、平日は3~4時間・休日は6~9時間の勉強をするよう伝えてきました。(もう少しやっている人もいます)。生徒達は勉強が辛いのか? 今回のGROWINGを書くにあたって聞いて

てみました。すると、「最初は辛いと思ったこともあったが、次第に習慣化して辛く感じなくなった。」という声が聞こえてきました。予備校にいる卒業生達に聞いてみると、「嫌だなと思うこともあったが、みんなで頑張ったことは楽しい思い出」と言ってくれる生徒もいたりポジティブな返答にホッとしました。



▲連日たくさんの受験生が自習で頑張っています。

まだ受験生ではない皆さんにとっては、「受験=辛い」と考える人もいるかもしれません。確かに楽ではありませんが、頑張っている自分に対する誇りや充実感を感じている生徒も多いようです。そうそう、諸口教室の卒業生の中には、受験で頑張っていた頃の自分に戻りたいと、カイチの非常勤講師に応募してきた人もいました。ただ、受験のプレッシャーはひしひしと感じているようで、「勉強の辛さより、落ちることが不安。不安だからやるしかない」という声もありました。私立受験まで後1カ月。各々が受験としっかり向き合い日々を過ごしているのだなと感じました。

連日の寒さやオミクロン株の感染拡大など体調面でも心配な時期が続きます。でも、そんな状況に負けず、春には全員が志望校に合格して笑い合えるように、1日1日を大切にしてみんなで頑張りよう。先生達も全力でサポートします。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

冬期講習 ~もうすぐ新学年。新たなスタートに向けて準備は万全ですか?~

坪田 陽一 (諸口教室)

新たな年を迎えました。年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年こそコロナ禍が終息して欲しいと願っていますが、ウイルスも生き残りに必死ですね。早くマスクなしで気兼ねなく会話ができるようにになりたいものです…。

さて、カイチでは1月8日まで冬期講習期間でした。

講習内容は基本的に「アウトプット中心の復習授業です。小4~中2までは講習会用のテキスト、中3生は入試過去問を使用し、問題を解き、その解説を受ける、その繰り返しの中で学力を伸ばしていくことになります。

一般的に、復習する目的は、以前の記事でも触れましたが、以下の2つです。

- ①苦手の発見、克服
- ②知識の整理、定着

①はいわば「穴」を見つけて埋める作業。自分の弱点を直視するのは大人でも嫌なことで、できれば避けて通りたいもの。子どもなら尚更です。「まあいいや」と理解不十分のまま放置しているところも多いはず。得意教科であっても、自分で気づけていない「穴」があるかもしれません。それは問題を解いていく中でしか発見できません。講習ではポイントをまとめたテキストを一通り復習することで効率的に穴を発見、克服します。

②は、知識同士を関連づけ、結びつける作業。学習したことがバラバラに散らばったままでは、いざ使おうとなった時取り出すのに時間がかかります。特に大事なことは取り出しやすいところに置く、関係のあるもの同士はラベリングして近くに配置する等、頭の中を整理することで、よりスピーディーに問題を解くことができるようになります。

特に、最終的にトップ10校を狙いたいという人は、①だけでは不十分です。テストの限られた時間で成果を出すには、基本的な問題が「分かる」「解ける」ではなく「スラスラ解ける」までにならないといけません。そうやって稼いだ時間で、思考力が必要な問題に腰を据えてじっくり取り組む必要があるからです。

すでに年が明け、3学期がスタートしています。と思う間にすぐ新学年。今のうちに現学年の復習を済ませ、新たなスタートに向けて準備を万全にしておくべきです。皆さんは冬期講習の期間でしっかりと復習ができたでしょうか?2月に入ってしまうと塾では学年末テスト対策に突入してしまいます。今のうちに講習のことを振り返り、

「何が得られたか」を確認し、足りない部分があれば少しでも復習を進めておいてはいかがでしょうか。

さて、中3生は公立入試まで泣いても笑ってもあと2か月。私立入試までは1か月を切っています。いよいよ大詰めとなってきました。この時期の過ごし方については、前号の井上先生の記事で詳しく触れられていますので、お手元にある方はぜひご覧ください。

この時期の勉強の仕方はシンプルです。ひたすら合格最低点をにらみながら、時間を計って「入試過去問演習」→「苦手を発見、克服」の繰り返しです。冬期講習の集団指導はこの流れで、一日に70分授業を4コマ、みっちり行っています。個別指導も同じ流れで、授業日は別に「演習日」を設け、そこで自分の志望校の過去問(5科又は3科)を、時間を計って一気に解き、その後科目毎に解説、質疑対応の時間を取りました。

ここから学力は入試当日まで伸び続けます。毎年、別人かと思うくらい「化ける」生徒がいます。毎日のように自習に来ては質問し、結果として、難しいと言われていた私立高の上位コースに合格!ということもざらです。大きいのはやはり意識の差です。

- ①受験する高校が決まったことで、目標がより明確になったこと
- ②今まで「まだ先のこと」と思っていた入試が目前に迫ってきたことによる危機感
- ③赤本の「合格最低点」との差を見ての焦り等々、きっかけはさまざまです。

親としては「何でもっと早く…」と嫌味を言いたくなるかもしれませんね。しかし、何がきっかけであれ、このように子供が成長する姿を目の当たりにできる機会はそうそうないと思います。ぜひ温かい目で見守り、応援してあげてください。私達塾講師も、そんな姿を見ることは喜びですし、「入試」はやはり生徒にとって貴重な学びの場だと実感します。結果がどうであれ、真剣に自分と向き合い、戦った経験は本当に得難いと思います。

ライバル達はすでにラストスパートをかけています。ここでベースを落としてしまうとあとという間においていかれます。特に例年にも増して「体調管理」は大切です。風邪等で体調を崩すことをきっかけに生活リズムが乱れ、そこから学力を持ち直すのに苦労する子が毎年います。ぜひご家族で支えてあげてください。何よりも、ここからは「志望校合格!」という強い気持ちを持ち続ける

ことが一番大事。何かあればすぐ先生に相談してください。ともに最後まで走り抜けて笑顔でゴールしたいと思っています。



◀小4FL中



▶中1授業中



◀中3演習中



▶中3岩崎先生質疑中

